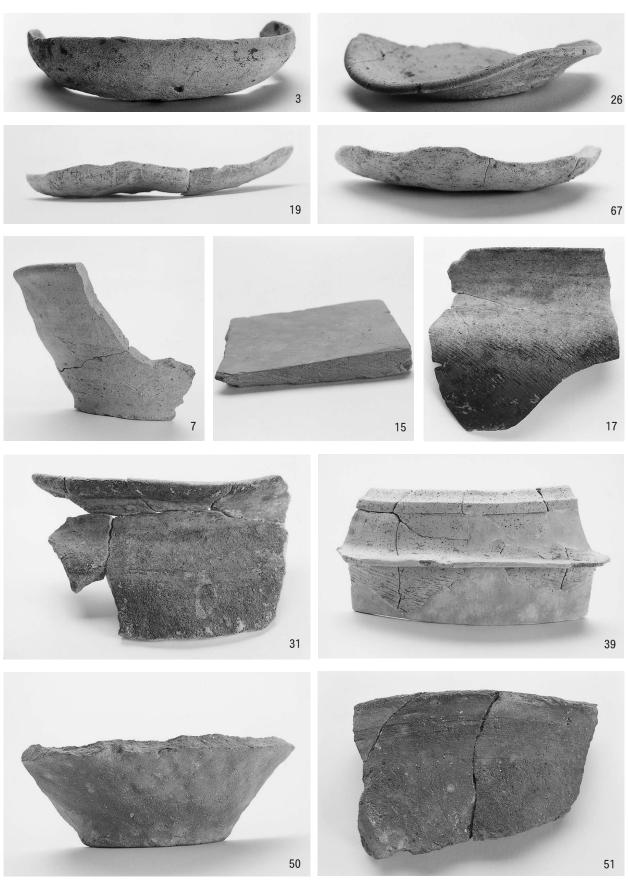
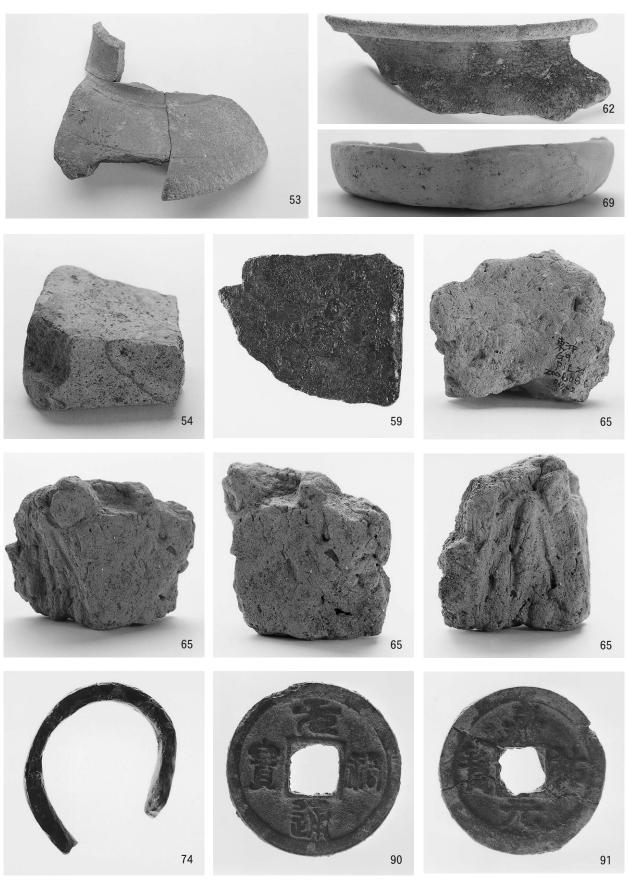
写真図版40 東沖遺跡

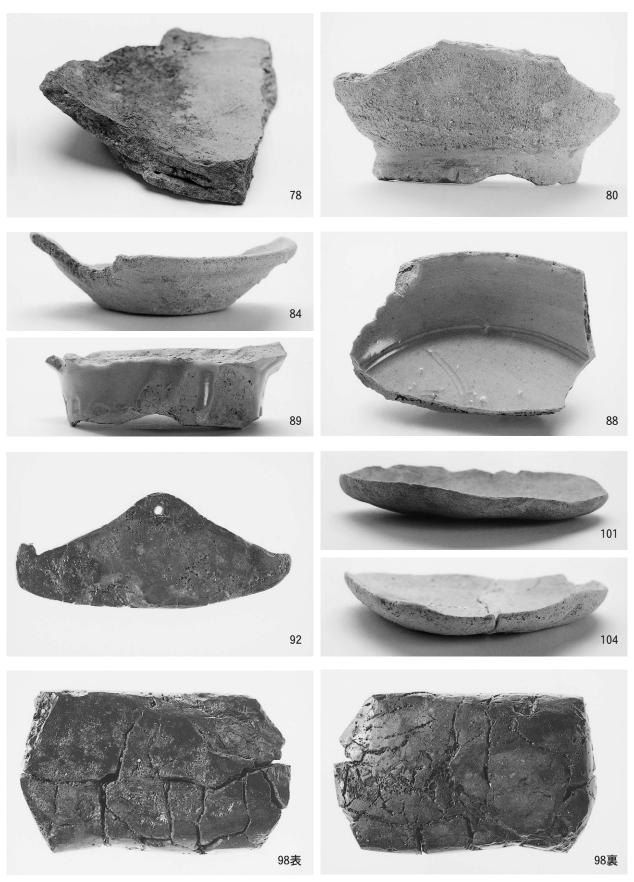


出土遺物①

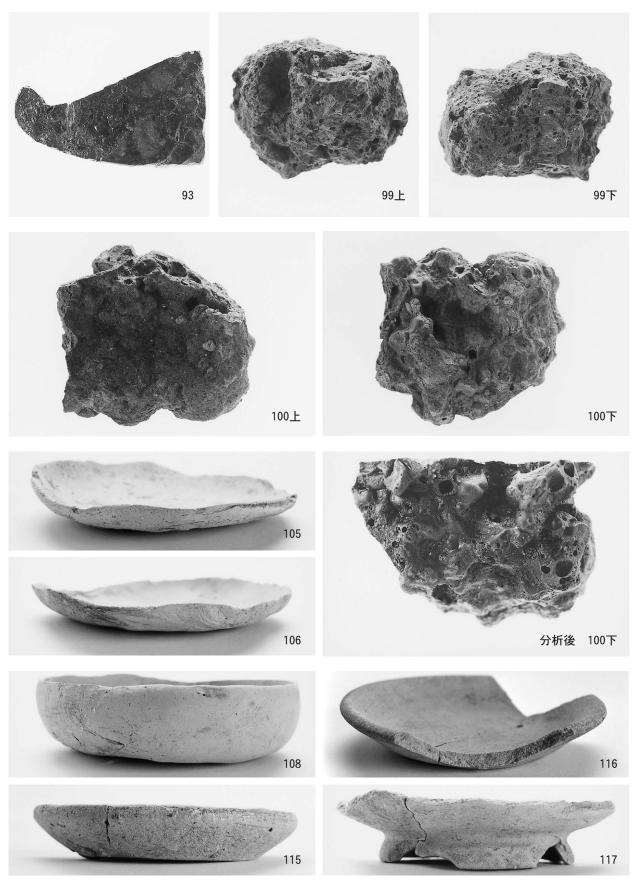


出土遺物②

写真図版42 東沖遺跡

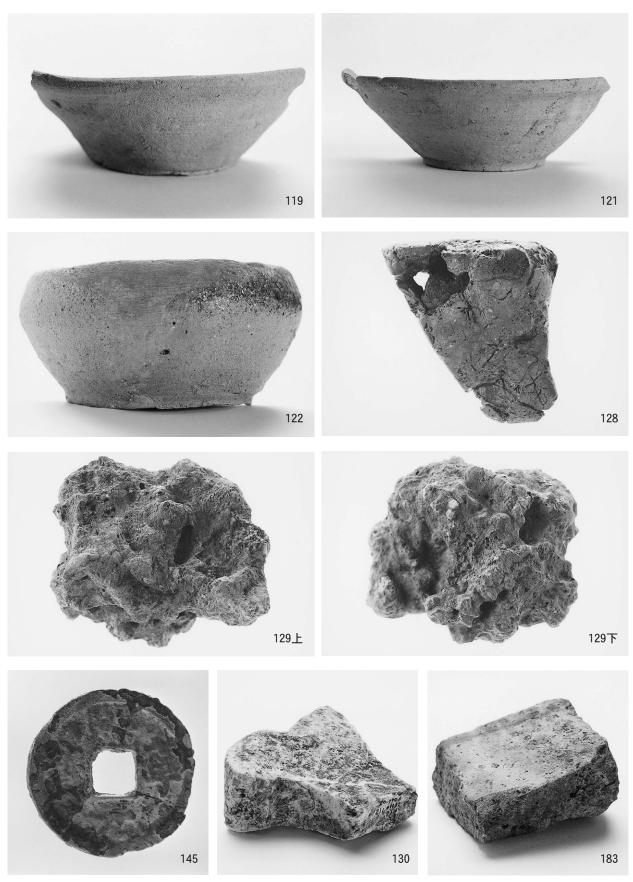


出土遺物③

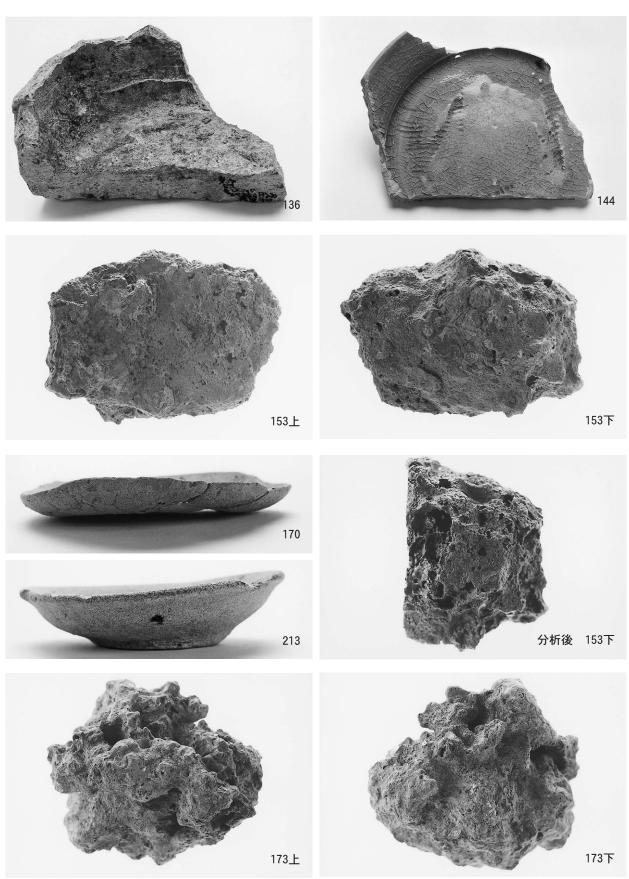


出土遺物④

写真図版44 東沖遺跡

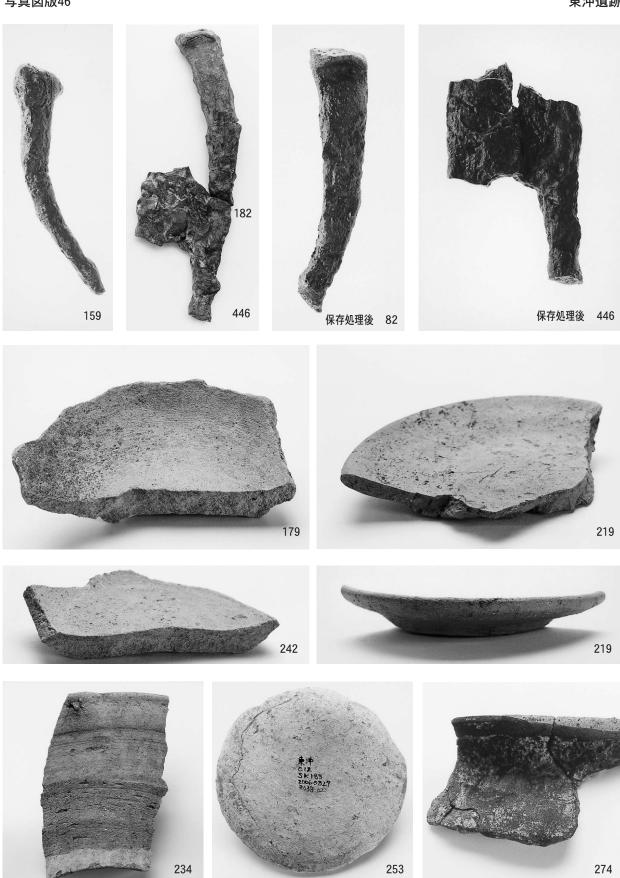


出土遺物⑤

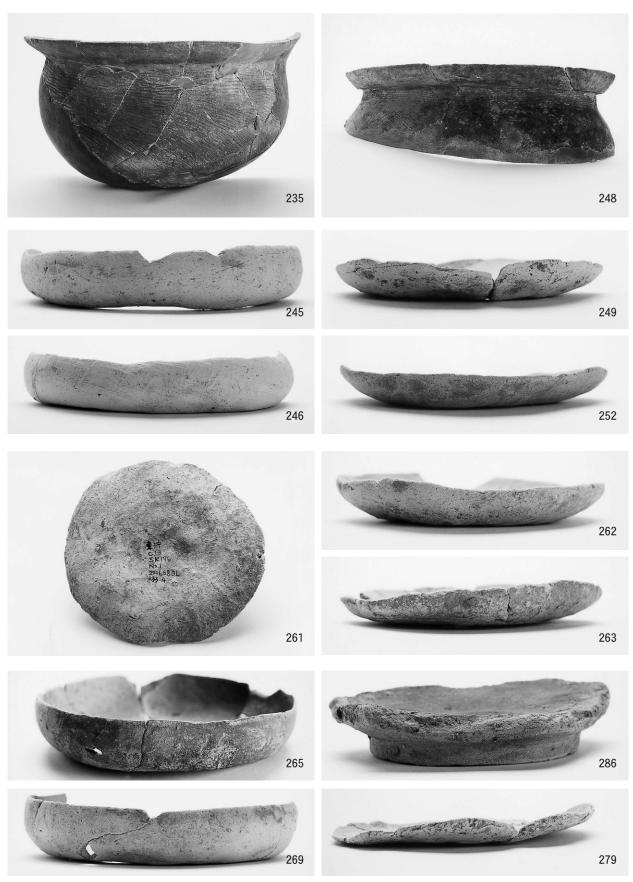


出土遺物⑥

写真図版46 東沖遺跡

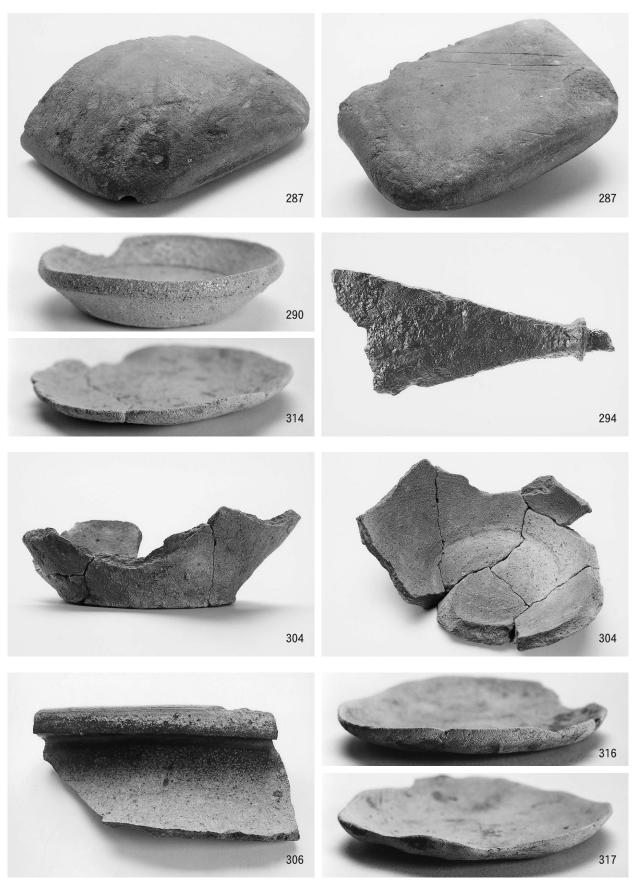


出土遺物⑦

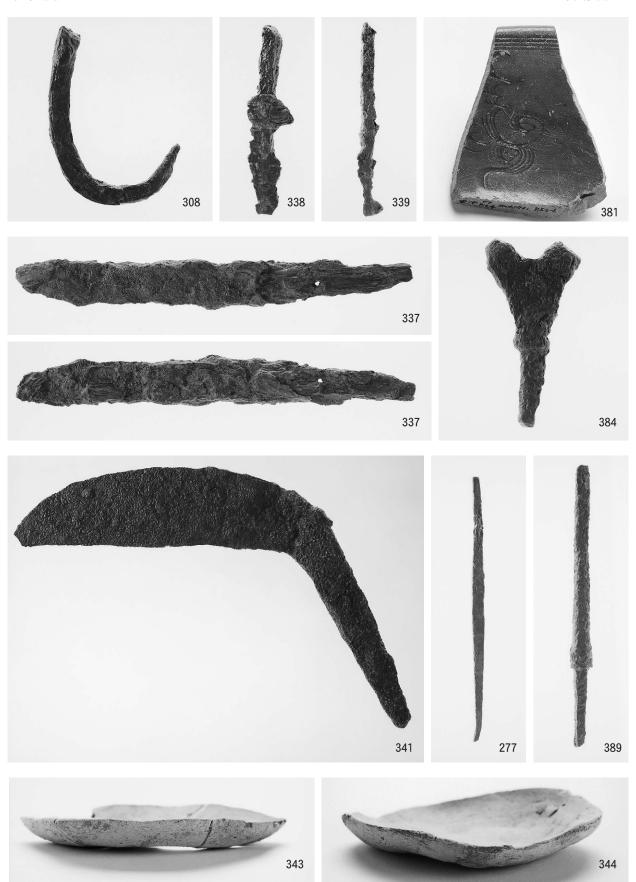


出土遺物⑧

写真図版48 東沖遺跡



出土遺物⑨



出土遺物⑩

写真図版50 東沖遺跡

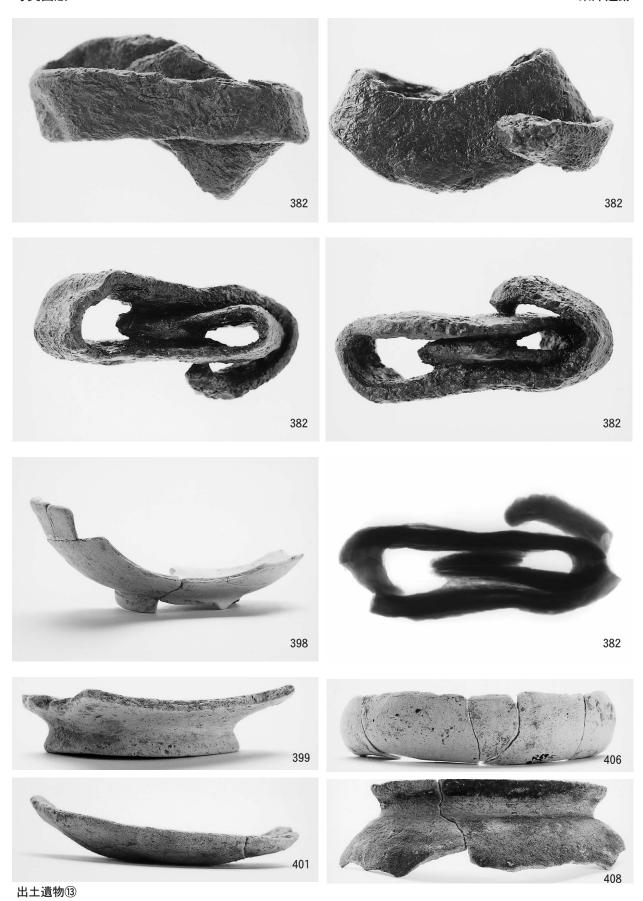


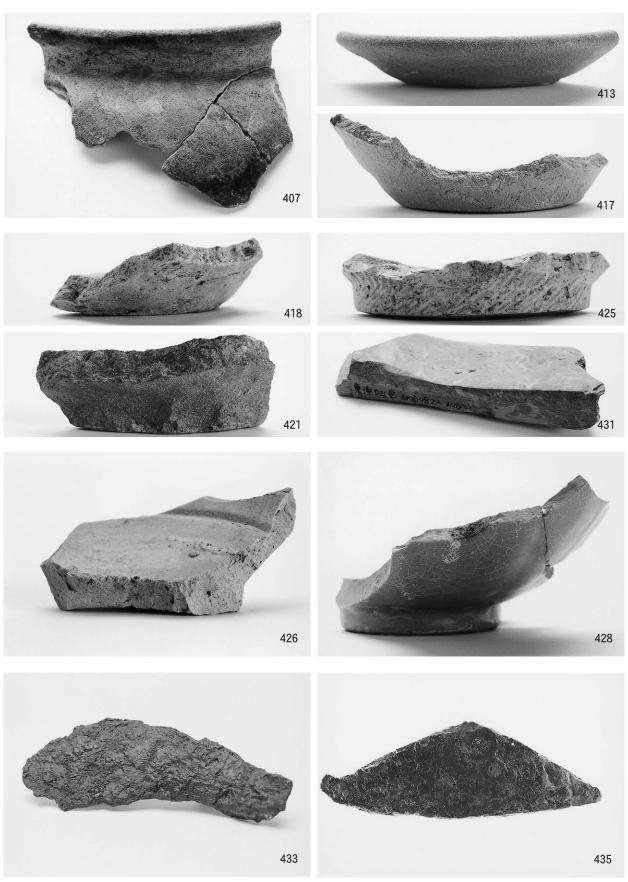
出土遺物⑪



出土遺物⑫

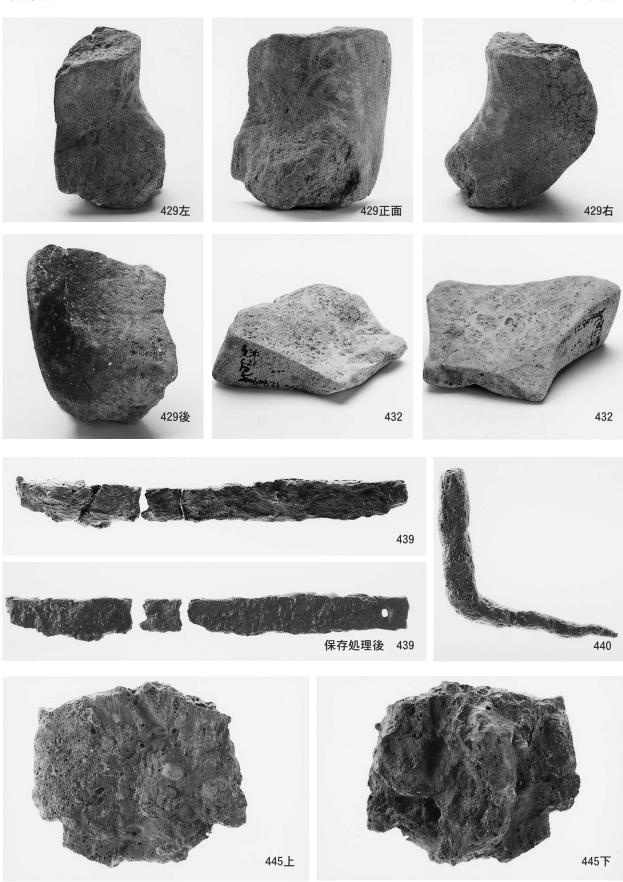
写真図版52 東沖遺跡



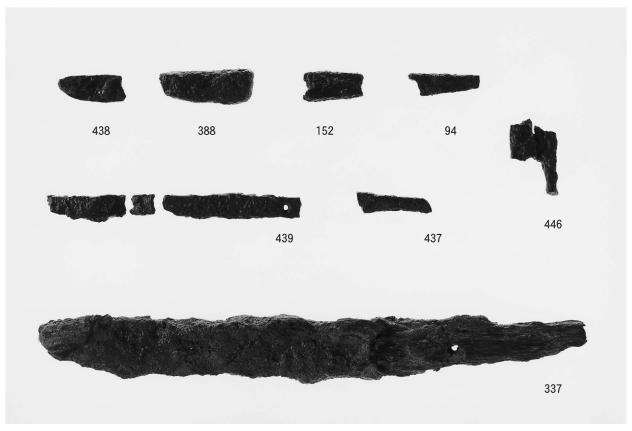


出土遺物⑭

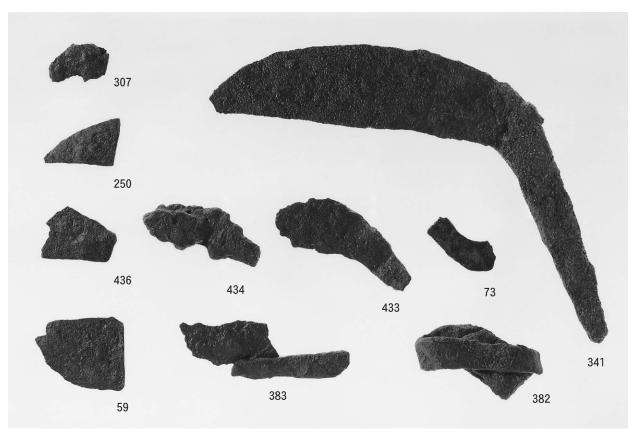
写真図版54 東沖遺跡



出土遺物⑮

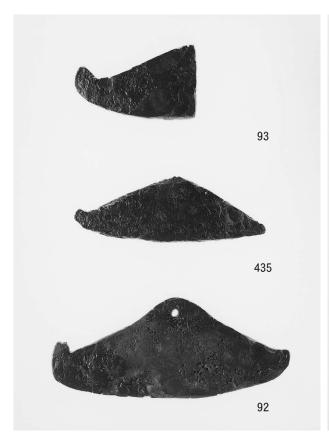


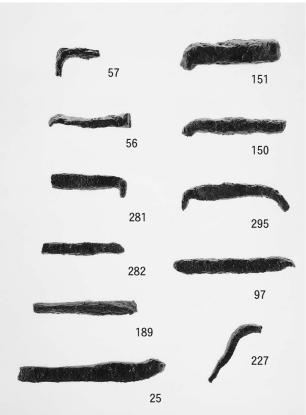
小刀



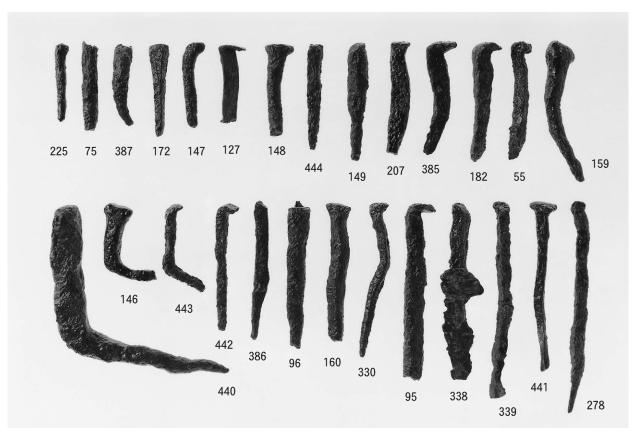
鎌

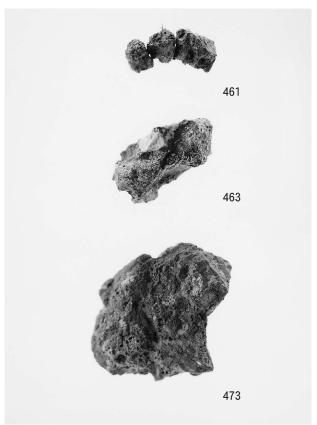
写真図版56 東沖遺跡

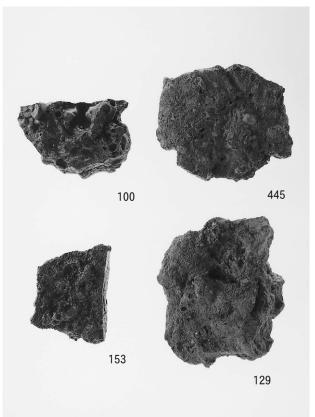




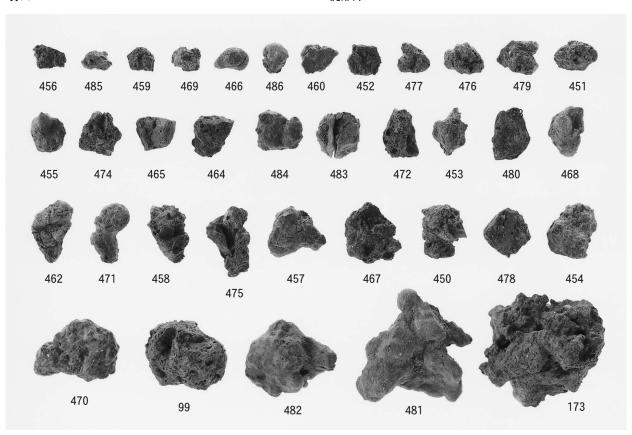
火打金 鎹







羽口 椀形滓



鉄滓

写真図版58 東沖遺跡



工事完成後 下茅原遺跡を望む(南から)



工事完成後 東沖遺跡を望む(西から)

報告書抄録

ふりがな		しもちはらいせきだいいちじ・だいにじ、ひがしおきいせきはっくつちょうさほうこく									
書名	名	下茅原遺跡(第1次・第2次)、東沖遺跡発掘調査報告									
副	書 名										
巻 没	欠										
	シリーズ名 三重県埋蔵			里蔵文化財調査報告							
シリー	シリーズ番号 3		303								
編著者名		(編集) 酒井巳紀子(本文)小山憲一、伊藤裕偉、木本勝己、西口剛司、 酒井巳紀子、 ㈱パレオ・ラボ、㈱元興寺文化財研究所(遺物写真)小山憲一、酒井巳紀子									
編集機関		三重県埋蔵文化財センター									
所在地		〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503 โロ 0596-52-1732									
発行生	平月日	西暦200	9年3月31	月							
ふりがな	ふりがな		コ	ード	北緯	東経。, "	調査期間	調査面積	調査原因		
所収遺跡名	所名	所在地		遺跡番号							
77 0	まつさかしちはら		204	a402	34°	136°	20040819	3, 145 m²	平成16年度中日	山間総合整	
	松阪市茅原町字中田地				29'	28'	~	, 110111	備事業(茅広江地区)		
(第1次)	内				41"	38"	20041203				
	まつさかしちはら	ちょうなかた	204	a402	34°	136°	20050601	1. 832 m²	平成17年度中日	山間総合整	
	松阪市茅原町字中田地		201	4102	29'	28'	~	1,002111	備事業(茅広江		
(第2次)	内				26"	53"	20050823				
() ()	まつさかしちはらちょうひがしおき		204	a256	34°	136°	20060517	2 490 m²	平成18年度中日	間総合整	
	東沖遺跡 松阪市茅原町字東沖地内		204	a250	29'	29'	~	3, 400 III	備事業(茅広江		
米什良奶					22"	11"	20060929				
所収遺跡名	種別主な		生 化	主な遺構		111	主な遺物		出土遺物重量 特記事項		
しもちはらいせき		平安時代末				十師器	陶器、陶			N LL F 人	
下茅原遺跡	町時代		×791 ±	坑、溝、墓、自		刀、鎌、銭貨等			00. 11 kg		
(第1次)				然流路、							
(#11)				み							
しもちはらいせき	生孩际	縄文時代、	平安時	十坊 ピ	w	縄文十	器、土師器	鉄鏃等	1. 6kg		
下茅原遺跡	76111291	代末期~室町時代		エグに、ピント					1. ong		
(第2次)											
(第2次)											
ひがしおきいせき	生 液跡	鎌倉時代。 安町時		掘立柱建物、土		土師器、陶器、青磁、白磁、			164 85kg		
東沖遺跡	未得咧					小刀、鎌、火打金、釘、銭			104. 05kg		
宋/			'			貨、鉄滓等					
1		1 4		溝、墓等	,						
		1 4		溝、墓等							
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				溝、墓等		貨、鉄剂					
所収遺跡名			шажа			貨、鉄 要 約	宰等	[, [m]) ~ \ta_+++	2°年中40~日~	la 10 III / 7	
所収遺跡名 しもちはらいせき	下茅原遺跡	亦は、櫛田		左岸側に位	江置する。	貨、鉄注 要 約 。 A地区	幸等 は調査区は		が集中的に見ら		
所収遺跡名 しもちはらいせき 下茅原遺跡	下茅原遺跡 代の墓や15~	がは、櫛田/ ~16世紀代	の掘立柱	左岸側に位 建物跡が確	上置する。 全認され	貨、鉄注 要 約 。 A地区 、南端に	宰等 は調査区は は旧河道が	3確認され	た。墓は石で周	囲を囲った	
所収遺跡名 しもちはらいせき	下茅原遺蹟 代の墓や15~ ものと石を数 B地区は11~	亦は、櫛田/ ~16世紀代。 数個だけ置 ~12世紀代。	の掘立柱 いたもの の旧河道	左岸側に位 建物跡が研 の2種類あ	位置する。 推認され、	貨、鉄注 要 約 本地端に 葬品と考	宰等 は調査区は は旧河道が えられるd	「確認され 上師器鍋・		囲を囲った 出土した。	
所収遺跡名 しもちはらいせき 下茅原遺跡	下茅原遺跡 代の墓や15~ ものと石を数	亦は、櫛田/ ~16世紀代。 数個だけ置 ~12世紀代。	の掘立柱 いたもの の旧河道	左岸側に位 建物跡が研 の2種類あ	位置する。 推認され、	貨、鉄注 要 約 本地端に 葬品と考	宰等 は調査区は は旧河道が えられるd	「確認され 上師器鍋・	た。墓は石で周 皿や小刀などが	囲を囲った 出土した。	
所収遺跡名 しもちはらいせき 下茅原遺跡	下茅原遺蹟 代の墓や15~ ものと石を数 B地区は11~ 続するものと	亦は、櫛田/ ~16世紀代/ 女個だけ置 ~12世紀代/ と考えられ	の掘立柱 いたもの の旧河道 る。	左岸側に位建物跡が确の2種類が や土坑が確	立置する。 推認され ちり、副 推認され	貨、鉄注 要 約 。 A地区 。 南品と 。 た。この	宰等 は調査区 ¹ は旧河道か えられる	が確認され 上師器鍋・ A地区の南	た。墓は石で居 皿や小刀などが 端で確認された	囲を囲った 出土した。 旧河道に接	
所収遺跡名 Lもちはらいせき 下茅原遺跡 (第1次)	下茅原遺路 代の墓や15~ ものと石を参 B地区は11~ 続するものと 2次調査図	亦は、櫛田/ ~16世紀代 枚個だけ置 ~12世紀代 と考えられ Kは、下茅/	の掘立柱 いたもの の旧河道 る。 京遺跡の	左岸側に位建物跡が確め 2 種類を 全土坑が確 を土坑が確	立置する。 を認され ちり、副 を認され を認され を認され	貨、鉄要 A 地端とこの大葬品大方大井大方大力大方大力大方大力大方大力大方大力大方大力大方大力大方大力大方大力 </td <td>な調査区は は旧河道か えられる」 旧河道はA た遺構は少</td> <td>が確認され 上師器鍋・ A地区の南 ないもの</td> <td>た。墓は石で周 皿や小刀などが</td> <td> 囲を囲った 出土した。 旧河道に接 を確認した。</td>	な調査区は は旧河道か えられる」 旧河道はA た遺構は少	が確認され 上師器鍋・ A地区の南 ないもの	た。墓は石で周 皿や小刀などが	囲を囲った 出土した。 旧河道に接 を確認した。	
所収遺跡名 しもちはらいせき 下茅原遺跡 (第1次)	下茅原遺路 代の墓や15~ ものと石を参 B地区は11~ 続するものと 2次調査図	亦は、櫛田/ ~16世紀代 数個だけに置 ~12考えられ と考えられ 区は、下茅/ 女士器や士!	の掘立柱 いたもの の旧河道 る。 「遺跡の「 師器、陶	左岸側に位 建物跡が類 の2種類が や土坑が留 南東側に位 器、鉄鏃が	立置する。 推認され。 あり、副 を認され。 でである。 ででは出土し、	貨要A大本本大本本大本よ大よよ大よよ大よよよ	幸等 は調査区はにはいるはいるはいできます。 はに対対ははいるはいできます。 た遺構は少しに伴なり過じに伴なり過じにはいる。 	が確認され 上師器鍋・ A地区の南 ないものな 貴物は少な	た。墓は石で居皿や小刀などが端で確認された 大きないででである。 たった、 たった、 たいでは、 たいでは、 たいでは、 ないでは、	囲を囲った 出土した。 旧河道に接 を確認した。	
所収遺跡名 しもちはらいせき 下茅原遺跡 (第1次) しもちはらいせき 下茅原遺跡	下茅原遺蹟代の2を15でものととは11で表するものとは2を11で表すするものと。 2次調査区 遺物は、縄3と考えられ、	亦は、櫛田/ ~16世紀代 %個だけけ置 ~12世紀代 と考えられ と考えられ とは、下茅/ 女士器や生! 遺構密度	の掘立いのる。 京語器である。 京師の高さ	左岸側に位建物跡が類を では、全土坑が前 では、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	位置する。 推認され あり、 記され で置する。 び出土を などと集落	質、鉄注 要 A 地端とこの 大葬た。 出遺辺の は構部	幸等 は調査区 は は は は は に 対 は は に は に が は は に が は は は は は は は は は は	が確認された 上師器鍋・ 入地区の南 かないものの 遺物は少な と考えられ	た。墓は石で居皿や小刀などが端で確認されたの、土坑や柱穴く、大半は流れる。	別囲を囲った ド出土した。 ド旧河道に接 を確認した。 よ込んだもの	
所収遺跡名 しもちはらいせき 下茅原遺跡 (第1次) しもちはらいせき 下茅原遺跡 (第2次) ひがしおきいせき	下茅墓や15~ ものと区るものと 日地するものと 2次は、 2次は、 遺物えられ、 東沖遺跡に	亦は、櫛田/ ~16世紀代 ~16世紀代代 ~12考えられ と考えら、下茅/ と 世 、 12世紀 、 13世紀 、 14世紀 、 15世紀 、 15世紀 、 15世紀 、 15世紀 、 15世紀 、 15世紀 、 15世紀 、 15世紀 、 15世紀 15	の掘立いのる。 原師ないの道。 原師の 原師の 所の、 原師の の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、	左岸側に位建物が類が の2種がが類が や土坑が前 南東側に低か 高ま、鉄慮する 約0.4km	立置する。 推認され あり、副 を認され で置ける。 では上集落 に位置す	質、鉄要A本本本本本本本本本たのしよよよ <t< td=""><td>宰等 は調査区 は は に は に は に に は に は に は に は に は は に は</td><td>が確認され・ 上師器鍋・南 人地区のもいまかい。 遺物は少なれ は考えられ 紀を最盛期</td><td>た。墓は石で居皿や小刀などが端で確認された の、土坑や柱穴く、大半は流れる。 とした溝で囲ま</td><td>問囲を囲った ぶ出土した。 ご旧河道に接 を確認した。 込込んだもの ミれた屋敷地</td></t<>	宰等 は調査区 は は に は に は に に は に は に は に は に は は に は	が確認され・ 上師器鍋・南 人地区のもいまかい。 遺物は少なれ は考えられ 紀を最盛期	た。墓は石で居皿や小刀などが端で確認された の、土坑や柱穴く、大半は流れる。 とした溝で囲ま	問囲を囲った ぶ出土した。 ご旧河道に接 を確認した。 込込んだもの ミれた屋敷地	
所収遺跡名 しもちはらいせき 下茅原遺跡 (第1次) しもちはらいせき 下茅原遺跡 (第2次)	下のの地域では、 下のの地域では、 を を を を を を で の の の の の の の の の の の の の	がは、櫛田 ~16世紀代 を個だけけ代代 と考え、下茅上 は、米や度 は、下茅原遺 は、下茅原遺 は、下茅原遺 は、下茅のの	の掘立も河の掘立も河のる。 原語器ででででいる。 原語器でででででいる。 原語器でででできる。 原語器ででできる。 原語器ででできる。 原語器できる。 原語器できる。 原語器できる。 原語器できる。 原語器できる。 原語器できる。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも。 のでも	左岸側に位 建物跡類が の2種坑が類が 南東、鉄慮 南と、 りの.4kml しては、 りしては、	位置する。 推認され もりいまれ では出生なる。 に位でで は内で	質要A本本本A本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本AxAAA <t< td=""><td>宰等 は調査区式がは、</td><td>が確認され・南 土師器鍋の も地区いは少ら 造物はよら を最敷地 もなを最敷地</td><td>た。墓は石で居皿や小刀などが端で確認されたの、土坑や柱穴く、大半は流れる。</td><td>囲かを囲った。 に出土道に接 を確認した。 に込んだもの に込れたを を対や土坑、</td></t<>	宰等 は調査区式がは、	が確認され・南 土師器鍋の も地区いは少ら 造物はよら を最敷地 もなを最敷地	た。墓は石で居皿や小刀などが端で確認されたの、土坑や柱穴く、大半は流れる。	囲かを囲った。 に出土道に接 を確認した。 に込んだもの に込れたを を対や土坑、	
所収遺跡名 しもちはらいせき 下茅原遺跡 (第1次) しもちはらいせき 下茅原遺跡 (第2次) ひがしおきいせき	下のの地域では、 下のの地域では、 を を を を を を で の の の の の の の の の の の の の	亦は、櫛田 ~16世紀けば紀代 ~12考える下や忠 と考えは、下学に は上書を は上書	の掘た田のののでは、京師ののでは、京師ののでは、京師のでは、京師のでは、京師のでは、京師のでは、京師のでは、京のでは、京のでは、京のでは、京のでは、京のでは、京のでは、京のでは、京	左岸側に位 建物跡類が の2種坑が類が 南東、鉄慮 南と、 りの.4kml しては、 りしては、	位置する。 推認され もりいまれ では出生なる。 に位でで は内で	質要A本本本A本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本AxAAA <t< td=""><td>宰等 は調査区式がは、</td><td>が確認され・南 土師器鍋の も地区いは少ら 造物はよら を最敷地 もなを最敷地</td><td>た。墓は石で居皿や小刀などが端で確認された の、土坑や柱穴く、大半は流れる。 とした溝で囲まには、掘立柱建</td><td>囲かを囲った。 に出土道に接 を確認した。 に込んだもの に込れたを を対や土坑、</td></t<>	宰等 は調査区式がは、	が確認され・南 土師器鍋の も地区いは少ら 造物はよら を最敷地 もなを最敷地	た。墓は石で居皿や小刀などが端で確認された の、土坑や柱穴く、大半は流れる。 とした溝で囲まには、掘立柱建	囲かを囲った。 に出土道に接 を確認した。 に込んだもの に込れたを を対や土坑、	

三重県埋蔵文化財調査報告303

下茅原遺跡 (第1次·第2次)、東沖遺跡 発掘調査報告

2009(平成21)年3月

編集・発行 三重県埋蔵文化財センター

印刷 (有)山文印刷